

# 誰もが安心して暮らせるまちづくり

## 社会福祉法人 寝屋川市社会福祉協議会



# 社会福祉協議会だより

平成29年8月1日  
第140号



いきいきサロン、子育てサロン、配食活動、どの活動もみんなの笑顔が元気の源です!（西校区福祉委員会）

特集

## 緊急時安否確認（かぎ預かり）事業 近所の見守りで救われた命

主な記事

平成28年度 事業報告と決算報告

校区福祉委員会活動紹介～国松緑丘校区・第五校区～  
始まりました!閉じこもり・介護予防の菜園プロジェクト  
ボランティア活動紹介(谷口 豊基(たにぐちとよき)さん)  
シルバー110の取組み(西北コミセンエリア)  
お知らせコーナー(募集、案内)

## インタビュー 地域のヒト! 栗原 柳次(くりはらりゅうじ)さん (西校区福朴委員会 委員長)



社会福祉協議会だより◆虹 140号 平成29年8月1日発行



栗原 柳次さん

インタビュー

# 地域のヒト!

Vol.6

くりはら りゅうじ  
栗原 柳次さん

(西校区福祉委員會 委員長)

小学校の統廃合を乗り越えて、  
新しい地域の交流事業を実施

平成16年度の旧西校区と旧池の里校区の統廃合により、平成17年4月から新しい西校区福祉委員会が生まれました。私が西校区福祉委員会の委員長を務めて、はや12年が経過しました。

初めはなにをするにも手探りの状態でした。関係者のみなさんと協議しながら、校区全体のひとり暮らし高齢者を対象とした交流事業をすることになり、西小学校とも連携しながら、4月上旬に「ふれあい桜まつり」10月下旬に「ふくし西まつり」12月初旬には「ふれあい餅つき大会」を実施しています。いずれの場合も、ひとり暮らし高齢者は160人前後、スタッフ80人前後の参加があり、地域に愛される行事として根付いてきたと思います。

委員長のモットー

何ごとも平等と公平を大切にしてきました。  
それが校区全体で円満に活動する力になっていると信じています。

久しぶりに地下鉄に乗った。「大日駅」は始発駅で、昼間に乗る人は多くない。特に考えることもなく、一番端の座席に座った。見回すと、乗客は各座席の両端に座っている。端の方が降りやすいからだろうか？

端の席がうまると、その隣席ではなく一席空けて座り始めた。混みあってくると、空いている席にサッと腰かける。素早い行動だ。電車内での人の行動パターンは非常に面白い。

ある駅でベビーカーを押した若い母親と幼い女の子が乗ってきた。母親はベビーカーを乗降口近くに置きたいのであろうが、端の座席は空いておらず困っている様子だ。

その時、向かい側に座っていた一人の男性が立ち上がり、端に座っている若いカップルに何か話していたが、そのカップルは笑顔で席を譲った。

母親は御礼を言っているのである、三人に頭を下げていた。最初に声をかけた男性は、何事もなかつたかのように別の車両へ姿を消した。

私は心の中で、この三人に拍手を送った。「勇気」と「思いやり」が生んだ心温まる光景だった。

K  
j生

- ◆発行者／社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会
  - ◆編集者／社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会広報編集委員会 寝屋川市池田西町28-22市立総合センター内
  - ◆電話 072-838-0400 ◆FAX 072-838-0166 ◆URL:<http://www.neyagawa-shakyo.or.jp>

## 平成28年度 事業報告と決算報告

全ての校区で緊急時安否確認(かぎ預かり)事業模擬訓練を実施!

平成28年度の事業報告と決算報告が承認されました。

事業実施の主な成果は、次のとおりです。

- 生活困窮者の生活の自立を支えるため、就労に向けた支援などに取り組む生活困窮者自立支援事業において、新たに企業や市民の寄附、地域貢献委員会の協力により、食品支援や職場体験の取り組みを行い、セーフティネットの充実を図ることができました。
- ひとり暮らし高齢者の孤立死を防ぐことを目的に取り組む「緊急時安否確認(かぎ預かり事業)」において、すべての校区福祉委員会で模擬訓練を行いました。福祉委員や施設職員、警察などとひとり暮らし高齢者の異変の発見や対応方法について確認を行うことで、見守りの意識が高まり、緊急時対応の連携がスムーズになりました。
- 甚大な災害が発生した際に本会が設置する「災害ボランティアセンター」の運営を行いました。

### 特集 緊急時安否確認(かぎ預かり)事業 近所の見守りで救われた命(事例から)

緊急対応件数は23件

への連絡などケアマネジャーと調整を行いました」  
鍵開錠後、警察が現場確認し倒れている対象者を発見。救急搬送につながりました。畠中さんは「緊急対応を行ったひとり暮らし高齢者ることは以前から心配で、気にかけていた方でした。地域包括支援センターの職員とも相談しつつ、介護保険サービス導入後は、ケアマネジャーとも密に連携を行っていました。日頃の活動の中で他の専門機関ともつながっていたことが、素早い対応につながりました」といいます。

平成28年度、緊急時安否確認(かぎ預かり)事業の緊急対応件数は、23件でした。そのうち生存で発見された件数は19件、死亡で発見されたのは4件でした。緊急時安否確認(かぎ預かり)事業で安否確認を行う場合、必ず複数で対応を行います。地域の福祉委員を中心に寛屋川警察や福祉にかかる専門機関と一緒に動くこともあります。

#### 地域の気づき(地域の見守り委員)



「施設のスムーズな対応にも助けられた」と話す畠中さん

#### 関係機関の気づき(ケアマネジャー)



「施設のスムーズな対応にも助けられた」と話す畠中さん

#### 見守り活動のネットワーク化が大切



災害ボランティアセンタースタッフ養成講座のようす(避難運営ゲーム:HUG)

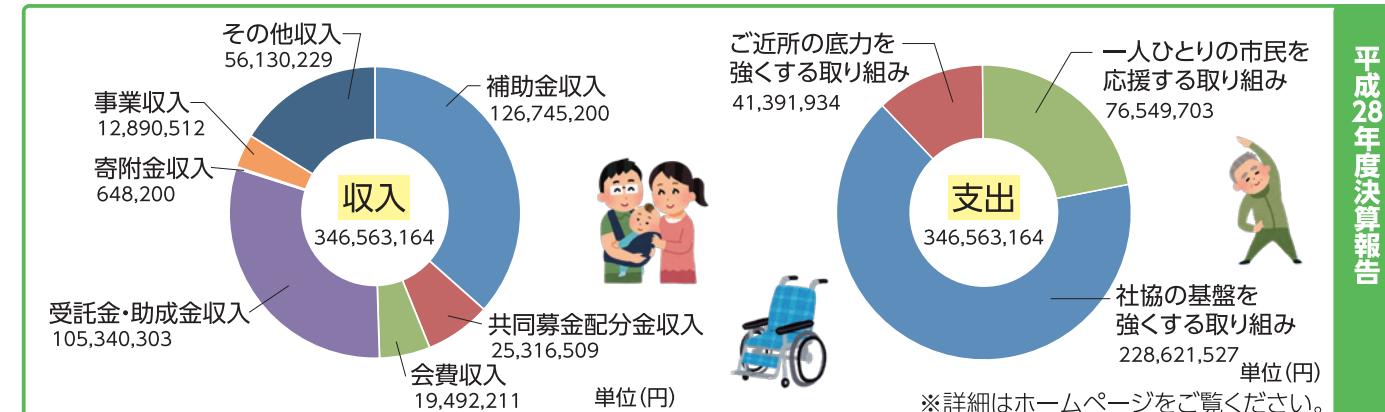


就職に向けた就労準備支援のようす(職場体験)

ンター」について、市と本会においてその設置・運営に関わる協定を締結しました。役割分担や連携、設置場所等について必要な事項を定めることができました。  
\*その他の取り組みなど、事業報告、決算報告の詳細はホームページ(<http://www.neyagawa-shaky.or.jp>)をご参照ください。

問 総務課

☎ 838-0400



※詳細はホームページをご覧ください。

## 平成28年度決算報告

改正社会福祉法に基づき、6月15日に役員改選が行われ、会長・副会長はじめとする役員が別表の通り決まりました。この役員体制は校区福祉委員会をはじめ、住民代表、福祉専門機関・団体、当事者団体、関連機関及び知識経験者から構成される組織構成会員156名から構成されました。

副会長をはじめとする役員が別表の通り決まりました。この役員体制は校区福祉委員会をはじめ、住民代表、福祉専門機関・団体、当事者団体、関連機関及び知識経験者から構成される組織構成会員156名から構成されました。

役職名	氏名	選出母体	役職名	氏名	選出母体
会長	下川 隆夫	知識経験者	校 区 福祉 委員 会	荻野 茂基	中村 一二三
	郡 美博	市政協力委員 自治推進協議会		石川 博張	校区福祉委員会
	幸寺 力			西尾 晴雄	市政協力委員 自治推進協議会
	辻岡 喜久雄	民生委員・ 児童委員協議会		細谷 喜久次	民生委員・ 児童委員協議会
	奥殿 真一	寝屋川市福祉部		大西 正禮	社会福祉施設
	栗原 柳次	校区福祉委員会		竹本 憲司	
	村山 欣也	知識経験者		手嶋 照喜	
				近藤 幸男	老人クラブ連合会
副会長				河尻 正	赤十字奉仕団
				椿野 昌祐	
常務理事					
監事					

改正社会福祉法に基づき、6月15日に役員改選が行われ、会長・副会長はじめとする役員が別表の通り決まりました。この役員体制は校区福祉委員会をはじめ、住民代表、福祉専門機関・団体、当事者団体、関連機関及び知識経験者から構成される組織構成会員156名から構成されました。

6月14日に開かれた本会評議員会で平成28年度の事業報告と決算報告が承認されました。

事業実施の主な成果は、次のとおりです。

1. 生活困窮者の生活の自立を支えるため、就労に向けた支援などに取り組む生活困窮者自立支援事業において、新たに企業や市民の寄附、地域貢献委員会の協力により、食品支援や職場体験の取り組みを行い、セーフティネットの充実を図ることができました。

2. ひとり暮らし高齢者の孤立死を防ぐことを目的に取り組む「緊急時安否確認(かぎ預かり事業)」において、すべての校区福祉委員会で模擬訓練を行いました。福祉委員や施設職員、警察などとひとり暮らし高齢者の異変の発見や対応方法について確認を行うことで、見守りの意識が高まり、緊急時対応の連携がスムーズになりました。

3. 甚大な災害が発生した際に本会が設置する「災害ボランティアセンター」の運営を行いました。

平成28年度、緊急時安否確認(かぎ預かり)事業の緊急対応件数は、23件でした。そのうち生存で発見された件数は19件、死亡で発見されたのは4件でした。緊急時安否確認(かぎ預かり)事業で安否確認を行う場合、必ず複数で対応を行います。地域の福祉委員を中心に対応を行う場合、必ず複数で対応を行います。地域の福祉委員を中心に対応を行う場合、必ず複数で対応を行います。

4. ひとり暮らし高齢者の孤立死を防ぐことを目的に取り組む「緊急時安否確認(かぎ預かり事業)」において、すべての校区福祉委員会で模擬訓練を行いました。福祉委員や施設職員、警察などとひとり暮らし高齢者の異変の発見や対応方法について確認を行うことで、見守りの意識が高まり、緊急時対応の連携がスムーズになりました。

5. 甚大な災害が発生した際に本会が設置する「災害ボランティアセンター」の運営を行いました。

6. 6月14日に開かれた本会評議員会で平成28年度の事業報告と決算報告が承認されました。

事業実施の主な成果は、次のとおりです。

1. 生活困窮者の生活の自立を支えるため、就労に向けた支援などに取り組む生活困窮者自立支援事業において、新たに企業や市民の寄附、地域貢献委員会の協力により、食品支援や職場体験の取り組みを行い、セーフティネットの充実を図ることができました。

2. ひとり暮らし高齢者の孤立死を防ぐことを目的に取り組む「緊急時安否確認(かぎ預かり事業)」において、すべての校区福祉委員会で模擬訓練を行いました。福祉委員や施設職員、警察などとひとり暮らし高齢者の異変の発見や対応方法について確認を行うことで、見守りの意識が高まり、緊急時対応の連携がスムーズになりました。

3. 甚大な災害が発生した際に本会が設置する「災害ボランティアセンター」の運営を行いました。

平成28年度、緊急時安否確認(かぎ預かり)事業の緊急対応件数は、23件でした。そのうち生存で発見された件数は19件、死亡で発見されたのは4件でした。緊急時安否確認(かぎ預かり)事業で安否確認を行う場合、必ず複数で対応を行います。地域の福祉委員を中心に対応を行う場合、必ず複数で対応を行います。地域の福祉委員を中心に対応を行う場合、必ず複数で対応を行います。

4. ひとり暮らし高齢者の孤立死を防ぐことを目的に取り組む「緊急時安否確認(かぎ預かり事業)」において、すべての校区福祉委員会で模擬訓練を行いました。福祉委員や施設職員、警察などとひとり暮らし高齢者の異変の発見や対応方法について確認を行うことで、見守りの意識が高まり、緊急時対応の連携がスムーズになりました。

5. 甚大な災害が発生した際に本会が設置する「災害ボランティアセンター」の運営を行いました。

6. 6月14日に開かれた本会評議員会で平成28年度の事業報告と決算報告が承認されました。

事業実施の主な成果は、次のとおりです。

1. 生活困窮者の生活の自立を支えるため、就労に向けた支援などに取り組む生活困窮者自立支援事業において、新たに企業や市民の寄附、地域貢献委員会の協力により、食品支援や職場体験の取り組みを行い、セーフティネットの充実を図ることができました。

2. ひとり暮らし高齢者の孤立死を防ぐことを目的に取り組む「緊急時安否確認(かぎ預かり事業)」において、すべての校区福祉委員会で模擬訓練を行いました。福祉委員や施設職員、警察などとひとり暮らし高齢者の異変の発見や対応方法について確認を行うことで、見守りの意識が高まり、緊急時対応の連携がスムーズになりました。

3. 甚大な災害が発生した際に本会が設置する「災害ボランティアセンター」の運営を行いました。

平成28年度、緊急時安否確認(かぎ預かり)事業の緊急対応件数は、23件でした。そのうち生存で発見された件数は19件、死亡で発見されたのは4件でした。緊急時安否確認(かぎ預かり)事業で安否確認を行う場合、必ず複数で対応を行います。地域の福祉委員を中心に対応を行う場合、必ず複数で対応を行います。地域の福祉委員を中心に対応を行う場合、必ず複数で対応を行います。

4. ひとり暮らし高齢者の孤立死を防ぐことを目的に取り組む「緊急時安否確認(かぎ預かり事業)」において、すべての校区福祉委員会で模擬訓練を行いました。福祉委員や施設職員、警察などとひとり暮らし高齢者の異変の発見や対応方法について確認を行うことで、見守りの意識が高まり、緊急時対応の連携がスムーズになりました。

5. 甚大な災害が発生した際に本会が設置する「災害ボランティアセンター」の運営を行いました。

6. 6月14日に開かれた本会評議員会で平成28年度の事業報告と決算報告が承認されました。

事業実施の主な成果は、次のとおりです。

1. 生活困窮者の生活の自立を支えるため、就労に向けた支援などに取り組む生活困窮者自立支援事業において、新たに企業や市民の寄附、地域貢献委員会の協力により、食品支援や職場体験の取り組みを行い、セーフティネットの充実を図ることができました。

2. ひとり暮らし高齢者の孤立死を防ぐことを目的に取り組む「緊急時安否確認(かぎ預かり事業)」において、すべての校区福祉委員会で模擬訓練を行いました。福祉委員や施設職員、警察などとひとり暮らし高齢者の異変の発見や対応方法について確認を行うことで、見守りの意識が高まり、緊急時対応の連携がスムーズになりました。

3. 甚大な災害が発生した際に本会が設置する「災害ボランティアセンター」の運営を行いました。

平成28年度、緊急時安否確認(かぎ預かり)事業の緊急対応件数は、23件でした。そのうち生存で発見された件数は19件、死亡で発見されたのは4件でした。緊急時安否確認(かぎ預かり)事業で安否確認を行う場合、必ず複数で対応を行います。地域の福祉委員を中心に対応を行う場合、必ず複数で対応を行います。地域の福祉委員を中心に対応を行う場合、必ず複数で対応を行います。

4. ひとり暮らし高齢者の孤立死を防ぐことを目的に取り組む「緊急時安否確認(かぎ預かり事業)」において、すべての校区福祉委員会で模擬訓練を行いました。福祉委員や施設職員、警察などとひとり暮らし高齢者の異変の発見や対応方法について確認を行うことで、見守りの意識が高まり、緊急時対応の連携がスムーズになりました。

5. 甚大な災害が発生した際に本会が設置する「災害ボランティアセンター」の運営を行いました。

6. 6月14日に開かれた本会評議員会で平成28年度の事業報告と決算報告が承認されました。

事業実施の主な成果は、次のとおりです。

1. 生活困窮者の生活の自立を支えるため、就労に向けた支援などに取り組む生活困窮者自立支援事業において、新たに企業や市民の寄附、地域貢献委員会の協力により、食品支援や職場体験の取り組みを行い、セーフティネットの充実を図ることができました。

2. ひとり暮らし高齢者の孤立死を防ぐことを目的に取り組む「緊急時安否確認(かぎ預かり事業)」において、すべての校区福祉委員会で模擬訓練を行いました。福祉委員や施設職員、警察などとひとり暮らし高齢者の異変の発見や対応方法について確認を行うことで、見守りの意識が高まり、緊急時対応の連携がスムーズになりました。

3. 甚大な災害が発生した際に本会が設置する「災害ボランティアセンター」の運営を行いました。

平成28年度、緊急時安否確認(かぎ預かり)事業の緊急対応件数は、23件でした。そのうち生存で発見された件数は19件、死亡で発見されたのは4件でした。緊急時安否確認(かぎ預かり)事業で安否確認を行う場合、必ず複数で対応を行います。地域の福祉委員を中心に対応を行う場合、必ず複数で対応を行います。地域の福祉委員を中心に対応を行う場合、必ず複数で対応を行います。

4. ひとり暮らし高齢者の孤立死を防ぐことを目的に取り組む「緊急時安否確認(かぎ預かり事業)」において、すべての校区福祉委員会で模擬訓練を行いました。福祉委員や施設職員、警察などとひとり暮らし高齢者の異変の発見や対応方法について確認を行うことで、見守りの意識が高まり、緊急

## 校区福祉委員会

# 活動紹介

## 第六中学校区



毎月1度開催しているサロン「ほっとステーション」では、地元の委員長では、地域住民が集まる場として、毎月様々なサロンを実施しています。

みんなと一緒に食べる食事はとっても美味しいです

の食材を使った食事とボランティアによる出し物などを福祉委員会で企画し、参加者同士の交流を図ります。また、地域包括支援センター職員による健康相談なども行っており、毎月会場が満員になるほどにぎわっています。

その他、各自治会館を利用して校区内の住民が気軽に立ち寄れる様にサロンや喫茶を開催しています。

参加者は「いつも楽しい会で次回が待ち遠しいです」との声が聞かれます。

第五校区福祉委員会（川口和子委員長）では、校区内の住民が集まる居場所づくりとして、月に1回ふれあいきいきサロンを開催しています。

サロンを開催するにあたり、ボランティア部会のふれあいサロングループ「あゆみの会」が中心となります。

「あゆみの会」では、校区内の自治会から要請があれば、出張でサロンを行うこともあります。

あゆみの会が行うふれあいきいき

サロン	場所	日時
ほっとステーション	国松会館	毎月第3水曜日 11:00~14:30
おしゃべり広場 ※国松緑丘校区 地域協働協議会と 共催	香里三井C集会所	第1・3月曜日 10:00~14:00



楽しくおしゃべりしながら素敵な作品をつくっています。

## 第五校区福祉委員会

### 「楽しく、なごめるひとときを」

開催しているところもあります。

各サロンの情報は掲示板などでご確認ください。校区内にお住まいの方はぜひ気軽に参加してください。

ふれあいきいきサロン

● 場所 東北コミュニティセンターなど

● 日時 每月第4月曜日  
10時~12時頃まで

ある日のサロン	
時間	メニュー
10:00	健康体操
10:15	レクリエーション(手作り、ゲームなど)
11:00	喫茶タイム
11:30	歌を唄おう
11:50	終了

たくさんの参加、お待ちしていま~す♪

### 〈広告〉

個人指導で大きく伸ばす <b>寝屋川幼稚教室</b> (寝屋川市駅・TSUTAYAそば) ※香里園・枚方教室あり	
A.	「定年退職後、知人に勧められ大阪府シルバー・アドバイサー養成講座を受講し、その際ボランティアをやってみた方がいい」と言われたことがきっかけです
Q.	ボランティアを始められたきっかけは?
A.	谷口さんにとってボランティアは? 「元気の源!」今の健康を保っているのはボランティアおかげです。たくさんの人との出会いもあり、この健康と人脈こそが私の財産です。これからも呼んでいただける限り、どこへでも行かせていただきます
Q.	谷口さんにとつてボランティアは?

**ボランティア活動紹介**

ボランティアセンター登録ボランティアグループ連絡会  
(会長 谷口豊基さん)

Q. こどもたちに手品を披露しています

A. 大阪府シルバー・アドバイサー養成講座を受講し、その際ボランティアをやってみた方がいい」と言われたことがきっかけです

Q. 谷口さんにとってボランティアは?

A. 「元気の源!」今の健康を保っているのはボランティアおかげです。たくさんの人との出会いもあり、この健康と人脈こそが私の財産です。これからも呼んでいただける限り、どこへでも行かせていただきます



◆善意銀行・一般寄附・社会福祉基金◆ (平成29年4月1日~6月30日) 敬称略		善意の流通センター
<b>現金の部</b>	預託者氏名	
堀江 活男 様 (高宮あさひ丘) なかにしきょうざう 中西 恭三 様 (成田西町) 京 いみ子後援会 様 (寝屋新町)	預託者氏名	品名
一般寄附への寄附金合計は21,296円でした。	匿名(2件)	紙おむつ・タオル・ハンカチ・靴下など
くお願い> 預託している物品は、新品(相当)のものに限られています。ご理解・ご協力のほどお願いいたします。	地域貢献委員会協力施設	レトルト食品、缶詰、精米、パックごはん、ふりかけ、アルファ米、コッペパンなど

いただいた物品は必要な方へお渡します。あたたかいご寄附、ありがとうございました! ❤

問 地域福祉課  
838-0400

このような「制度のはざま」問題に対応するためにCSWの連絡会を月1回開催し、複合多問題への対応策の検討、仕組み化を目指しています。

CSWは右記事例のように、ひとつ相談機関では解決することが難しい複数の課題を抱えた方に対し、まずは相談をお聞きし、課題を整理し、窓口に同行するなど、関係機関へのつなぎや、寄添い型・伴走型の支援を実施します。ときには、民生委員や校区福祉委員と連携しながら支援しています。

本会では各コミュニティセンターエリアと本会事務局に各1名(計7人のCSWを配置し、さまざまに相談を受けています。

CSW(コミュニティソーシャルワーカー)

地域のふくし相談員

事例

ひきこもり気味の60代女性(単身)

相談内容

- 生活費が底をつき、路上でうなだれているところを心配した民生委員から相談

CSWの関わり

- 年金支給日までの緊急食品支援要請
- 医療へのつなぎ
- 関係機関と支援のネットワークを構築

関わった結果

- 医療にかかったあと体調が回復し、校区福祉委員会のサロン活動に参加するようになった
- 地域のなかでの見守りがなされ、孤立することなく生活できるようになった

ひとり暮らし高齢者の会は、65歳以上のひとり暮らしの方で構成される当事者組織で、ひとり暮らしであるがゆえの悩みや問題を共有して支え合ったり、親睦会や旅行などさまざまなイベントを実施するなど、日々楽しい生活が送れるように活動をしています。

現在、会の数は市内10会あり、各会で特徴ある活動をしています。カラオケやマージャン教室、コーラス、講師を招いての講座などを、会の役員が中心となって会員と一緒に企画しています。笑顔あふれる会活動が魅力です。

A. 谷口さんにとってボランティアは?

Q. 「元気の源!」今の健康を保っているのはボランティアのおかげです。たくさんの人との出会いもあり、この健康と人脈こそが私の財産です。これからも呼んでいただける限り、どこへでも行かせていただきます

